

企画展

昭和の夫婦

～“戦傷病者の妻”が生きた時代～

共催：千代田区立千代田図書館

協力：水木プロダクション 実業之日本社
水木しげる記念館

国立障害者リハビリテーションセンター

後援：千代田区・千代田区教育委員会

寄り添い、

支えあい、

…そして今



子どもと一緒に
(戦後)



療養中(昭和17年)



いま…
「寄り添い、支えあう」



水木しげる御夫妻
(平成19年)

撮影 野口さとこ



会期 平成22(2010)年

7.1.木～9.26.日



SHOKEIKAN

しょうけい館

戦傷病者史料館

Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

会場 しょうけい館1階

開館時間 10:00～17:30 (入館は17:00まで)

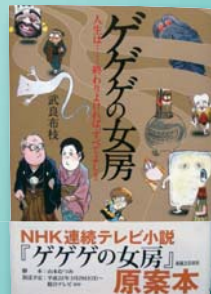
休館日 毎週月曜日, 7月20日(火), 9月21日(火)

入館無料

特設展示

『ゲゲゲの女房』

武良茂(水木しげる)・
布枝さんご夫妻



お見合いから5日後にスピード結婚した赤貧時代。二人の娘を育て、夫の水木しげるさんが売れっ子になり、眠るまもなく働いた猛烈時代…

大変な日々の先に、ふたり揃って穏やかな気持ちで迎えられる今、夢みたいだと振り返っています。

特別展示(7/1～8/1):水木さんの義手

昭和の夫婦

「戦傷病者の妻」が 生きた時代

いまから約65年前の戦争で傷つき病にたおれた多くの戦傷病者にとつて、戦中・戦後の生活をするうえで、家族の支え、とくに妻の支えをぬきには語れません。戦中には「白衣の勇士」として周囲から勧められて結婚した経緯もあれば、戦後は「傷痍軍人」と知りながらご苦労をとともに生活された方など様々です。

本展では、戦傷病者ご夫婦の結婚式・戦中・戦後の写真をおりませで、いちばん苦しかったころの想い出を伝える資料と証言映像を展示いたします。昭和36年1月、戦傷病

者と知りながら結婚して人生をとともに歩んだ、漫画家・水木しげるさんの妻であり『ゲゲゲの女房』(実業之日本社、平成20年)で有名な、武良布枝さんもその一人です。初公開となる布枝さんの「証言映像」、水木さんの「義手」(鳥取県境港市「水木しげる記念館」)を特別展示いたします。併せて千代田図書館では水木さん関連図書も展示します。

戦傷病者ご夫婦が互いを支えあって、誰もが生きることになり一杯だった「昭和」を生きぬいた人生の歩みを、皆さんもたどってみませんか。この展示会で、厳しい時代を生きぬくヒントが見つかるかもしれません。

関連イベント

1 担当学芸員によるミニ紙芝居+フロアレクチャー

日時 隔週土曜14:00~14:30 (7/17、7/31、8/14、8/28、9/25) **入館無料**

2 証言映像

「むらぬのえゲゲゲの女房・武良布枝さんの人生」上映会と関連トークイベント

日時 平成22(2010)年9月11日(土) 14:00~15:30 **入館無料**

場所 千代田区民ホール(千代田区役所1階)

●16:00~16:30 館内移動後にフロアレクチャー

お申し込みは電話にて 03-3234-7821 (定員100名)

3 しょうけい館&千代田図書館連携展示

「戦傷病者・水木しげるさんの人生」

日時 平成22(2010)年7月26日(月)~9月25日(土)

場所 千代田図書館 展示ウォール(千代田区役所9階) **休館日** 8月22日(日)

時間 月~金 10:00~22:00 土 10:00~19:00 日・祝 10:00~17:00 **入館無料**
(7・8月は日曜・祝日は19:00まで開館)



©水木プロ



結婚式(昭和19年)

家族とともに(昭和18年)

運動会(昭和17年ごろ)

しょうけい館

しょうけい館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦について証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設です。



TEL 03(3234)7821 FAX 03(3234)7826 URL www.shokeikan.go.jp

住所 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 共同ビル九段2号館

